

浮田の杜



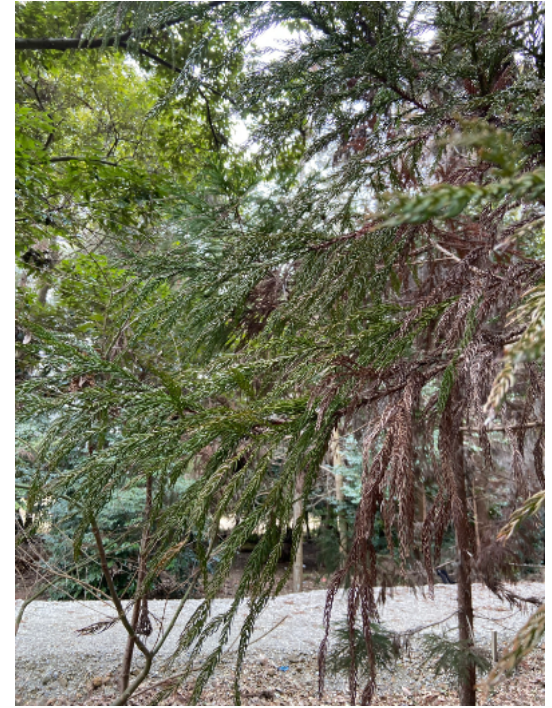
ひの木の香
ただよう木
浮田の杜

ひの木の香
ただよう木
浮田の杜

「浮田の杜って？」

学校の近くに荒木神社がありますよね。
その荒木神社のあたり一帯が

「浮田の杜」だとされています。昨年、木材について学習をしたかと思いますが、シイヤクロバイと言った広葉樹材に、ヒノキを主とした針葉樹材が広がっています。歴史だけでなく、植物学的にも大変貴重な群生森です。



「浮田の杜」を詠んだ万葉集

この荒木神社の杜が、奈良時代に「浮田の杜」として存在したことは、万葉集 11-2839に、書かれています。

「かくしてや なほや守らぬ大荒木の 浮田の杜の杜の標
ならなくに」

標＝しめ縄のことを表しています。

浮田の杜は、万葉集に詠まれた古い杜ですが、この辺り一帯の荒木神社がそれに当たると考えられています。歌の内容は、しめ縄に寄せて女性の想いをのべた歌ですが、その背景には、この杜が昔から神の言いつけが厳しいため、人々がみだりに杜に立ち入ることを禁止していたことがわかります。



← ヒノキ



←シイ



←クロバイ



←竹

感想

実際に自分で調査に行ってみて、色々な種類の木があつて1300年ほど前の木もあるとわかつて、歴史が詰まってるんだなと思いました。にこにこ坂の途中にあるのでぜひ行ってほしいです。

作成者：M.K